

令和4年度 東北高等学校 入学試験問題 一般A日程

数学

解答注意

- 問題は全部で20問あります。
- の中の答えは、0から9までの数字および、ーの符号のいずれか1つが入ります。
- 答えは、解答シートに記入しなさい。

例1. □□に29と答えたいとき。

例1. $\boxed{2} \boxed{9}$

例2. $\boxed{2} \sqrt{\boxed{6}}$

例2. □ $\sqrt{□}$ に $2\sqrt{6}$ と答えたいとき。

例3. $\div \boxed{2} \boxed{4}$

例3. □□□にー24と答えたいとき。

例4. $\frac{\text{分子}}{\text{分母}} / \frac{\text{分子}}{\text{分母}}$ に $-\frac{1}{13}$ と答えたいとき。

例4. $\div \boxed{1} / \boxed{1} \boxed{3}$

例5. □□に123と入る答えはありません。

数字の記入例

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

○印の部分を注意してください。

1 次の問いに答えなさい。

(1) $5 - (-3)^2$ を計算しなさい。

(2) $\sqrt{72} \div \sqrt{6} - \sqrt{3}$ を計算しなさい。

(3) $4a^2b \div (-8ab^3) \times 6b^2$ を計算しなさい。

(4) $8x^2 - 2$ を因数分解しなさい。

(5) $x = \sqrt{5} + \sqrt{2}$, $y = \sqrt{5} - \sqrt{2}$ のとき, $x^2 + 2xy + y^2 - 1$ の値を求めなさい。

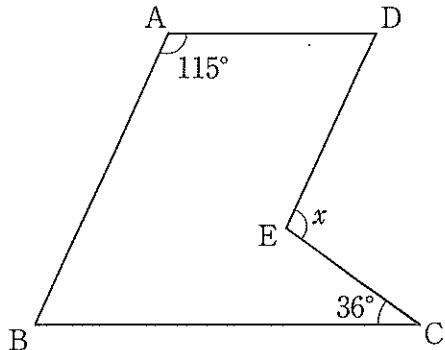
2 次の問いに答えなさい。

(1) 連立方程式 $\begin{cases} 2x + y = 8 \\ 3x - 2y = 19 \end{cases}$ を解きなさい。

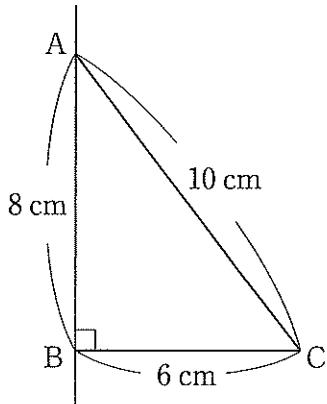
(2) 関数 $y = \frac{1}{3}x^2$ において、 x の変域が $-6 \leq x \leq 3$ のときの y の変域を求めなさい。

(3) 連続した2つの自然数があります。これら2つの自然数の平方の和は、大きい方の自然数の22倍に1を加えた数と等しくなります。2つの自然数のうち、小さい方の数を求めなさい。

(4) 右の図において、 $AB \parallel DE$, $AD \parallel BC$ です。このとき、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。

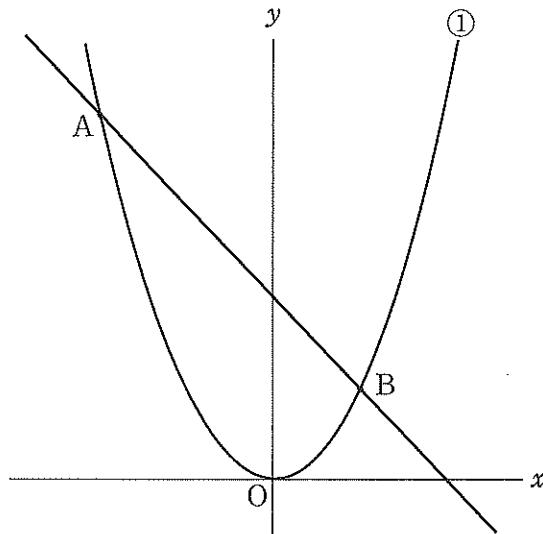


(5) 右の図のような直角三角形ABCを直線ABを軸として1回転させてできる立体の表面積を求めなさい。ただし、円周率は π とします。



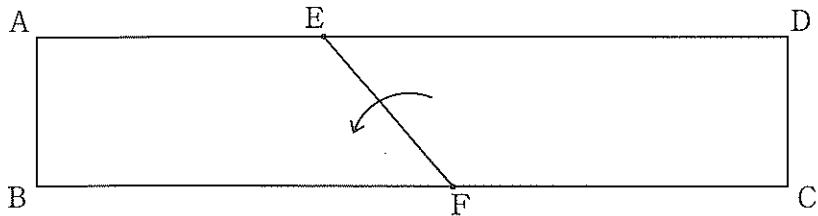
- 3 下の図で、①は関数 $y = ax^2$ のグラフです。①のグラフ上に 2 点 A(-4, 8), B(2, 2) があります。

このとき、次の問い合わせに答えなさい。

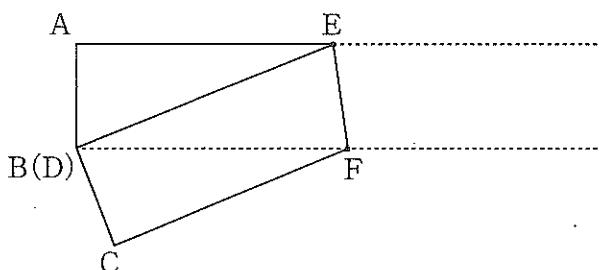


- (1) a の値を求めなさい。
- (2) 直線 AB の式を求めなさい。
- (3) $\triangle OAB$ の面積を求めなさい。
- (4) x 軸上の負の部分に点 P をとります。 $\triangle PAB$ の面積が $\triangle OAB$ の面積の 3 倍になるとき、点 P の x 座標を求めなさい。

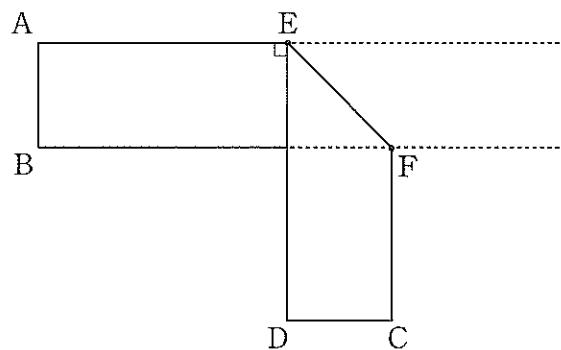
- 4 下の図のような、 $AB = 5\text{ cm}$, $BC = 25\text{ cm}$ の長方形 $ABCD$ があります。辺 AD 上に点 E , 辺 BC 上に点 F をとり、線分 EF を折り目として折り返します。
このとき、次の問いに答えなさい。



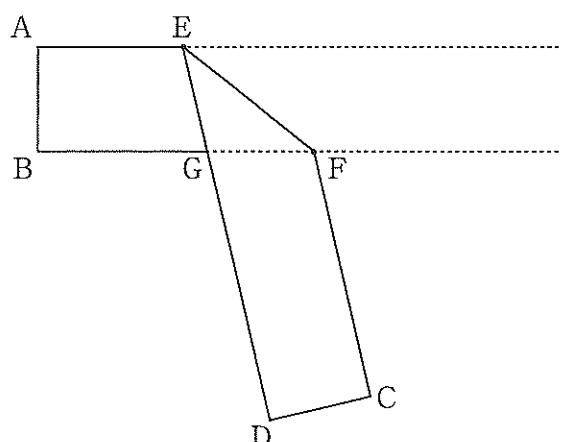
- (1) 右の図のように、頂点 D が頂点 B と重なるように折り返したところ、 $AE = 12\text{ cm}$ になりました。このとき、 $\triangle EBF$ の面積を求めなさい。



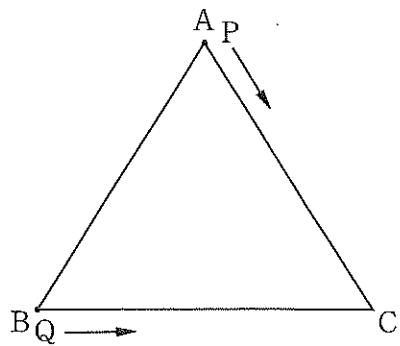
- (2) 右の図のように、 $AE \perp ED$ となるよう折り返したところ、 $AE = 12\text{ cm}$ になりました。このとき、線分 CF の長さを求めなさい。



- (3) 右の図のように折り返したところ、台形 $ABGE$ (点 G は線分 BF と線分 ED との交点)の周の長さが 27 cm になりました。このとき、台形 $EDCF$ の面積を求めなさい。



- 5 右の図のような△ABCがあり、点Pは頂点Aに、点Qは頂点Bにあります。大小2つのさいころを同時に1回投げ、大きいさいころの出た目の数を p 、小さいさいころの出た目の数を q とします。2点P、Qは、△ABCの頂点をそれぞれ次のように進みます。



- ・点Pは時計回りに p だけ進む。
- ・点Qは q が偶数ならば反時計回りに q だけ進み、 q が奇数ならば進まない。

このとき、次の問い合わせに答えなさい。ただし、さいころはどの目が出ることも同様に確からしいものとします。

- (1) 2点P、Qがともに頂点Bにある確率を求めなさい。
- (2) 2点P、Qがともに頂点Cにある確率を求めなさい。
- (3) 2点P、Qが△ABCの異なる頂点にある確率を求めなさい。

令和4年度

東北高等学校 数学一般A 解答シート

氏名

受験
番号

1

(1) $\boxed{\quad} \boxed{\quad}$ (2) $\sqrt{\boxed{\quad}}$ (3) $\boxed{\quad} \boxed{\quad} a$ (4) $\boxed{\quad} (\boxed{\quad} x + \boxed{\quad}) (\boxed{\quad} x - \boxed{\quad})$ (5) $\boxed{\quad} \boxed{\quad}$

2

(1) $x = \boxed{\quad}, y = \boxed{\quad} \boxed{\quad}$ (2) $\boxed{\quad} \leq y \leq \boxed{\quad} \boxed{\quad}$ (3) $\boxed{\quad} \boxed{\quad}$ (4) $\boxed{\quad} \boxed{\quad} \boxed{\quad}$ 度

3

(5) $\boxed{\quad} \boxed{\quad} \pi \text{ cm}^2$ (1) $a = \frac{\text{分子}}{\boxed{\quad}} / \frac{\text{分母}}{\boxed{\quad}}$ (2) $y = \boxed{\quad} x + \boxed{\quad}$ (3) $\boxed{\quad} \boxed{\quad}$ (4) $\boxed{\quad} \boxed{\quad}$

4

(1) $\frac{\text{分子}}{\boxed{\quad} \boxed{\quad}} / \frac{\text{分母}}{\boxed{\quad}} \text{ cm}^2$ (2) $\boxed{\quad} \text{ cm}$ (3) $\boxed{\quad} \boxed{\quad} \text{ cm}^2$

5

(1) $\frac{\text{分子}}{\boxed{\quad}} / \frac{\text{分母}}{\boxed{\quad}}$ (2) $\frac{\text{分子}}{\boxed{\quad}} / \frac{\text{分母}}{\boxed{\quad} \boxed{\quad}}$ (3) $\frac{\text{分子}}{\boxed{\quad}} / \frac{\text{分母}}{\boxed{\quad}}$

令和4年度

東北高等学校 数学一般A 解答シート

氏名

受験
番号

1

(1) $\div \boxed{4}$ (2) $\sqrt{3}$ (3) $\div \boxed{3} a$ (4) $2 (\boxed{2} x + \boxed{1}) (\boxed{2} x - \boxed{1})$ (5) $\boxed{1} \boxed{9}$

2

(1) $x = \boxed{5}, y = \div \boxed{2}$ (2) $0 \leq y \leq \boxed{1} \boxed{2}$ (3) $\boxed{1} \boxed{1}$ (4) $\boxed{1} \boxed{0} \boxed{1}$ 度

3

(5) $\boxed{9} \boxed{6} \pi \text{ cm}^2$ (1) $a = \frac{\text{分子}}{\boxed{1}} / \frac{\text{分母}}{\boxed{2}}$ (2) $y = \div x + \boxed{4}$ (3) $\boxed{1} \boxed{2}$ (4) $\div \boxed{8}$

4

(1) $\frac{\text{分子}}{\boxed{6} \boxed{5}} / \frac{\text{分母}}{\boxed{2}} \text{ cm}^2$ (2) $\boxed{8} \text{ cm}$ (3) $\boxed{7} \boxed{0} \text{ cm}^2$

5

(1) $\frac{\text{分子}}{\boxed{2}} / \frac{\text{分母}}{\boxed{9}}$ (2) $\frac{\text{分子}}{\boxed{1}} / \frac{\text{分母}}{\boxed{1} \boxed{8}}$ (3) $\frac{\text{分子}}{\boxed{2}} / \frac{\text{分母}}{\boxed{3}}$